

-Index- 文化祭 第16回「きこえない」を知る二日展
紙上報告 夏季研修会②「養護教諭セミナー」
チャレンジ！発音指導⑩
New!!手話動画のHP公開



第16回「きこえない」を知る二日展

11月10日(金)及び11日(土)に、本校文化祭にて、第16回「きこえない」を知る二日展を開催します。今年度も本校支援部が中心となり、手話や視覚的な情報などをはじめ、きこえない・きこえにくいとは何なのか、楽しみながら学べる展示を企画しています。

11月10日(金) 13:30~15:30
11月11日(土) 9:00~15:00

- 手話ダンス
- 生活に使えるアイテム・アプリ
- スターバックス
ーサイニングストアー
- エキマトペ



夏の高校野球応援ソング「フォトグラフ」

手話ダンス

手話をもとにしたダンスが評判になった夏の高校野球応援ソング「フォトグラフ」を展示します。もともとなった手話から、どんなダンス表現になったか見てください。



便利アイテムやアプリの紹介

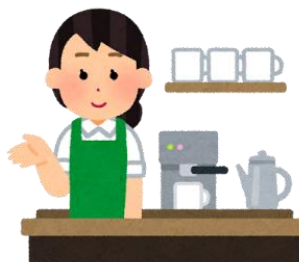
生活に使えるアイテム・アプリ

事前インタビューをして教えていただいた、きこえにくい人にとって便利なアイテムやアプリを紹介します。二日展の会場では、実際に体験できるアプリ等も紹介できればと思います。



手話が共通言語

スターバックス ーサイニングストアー



東京国立市に『スターバックス サイニングストア』があります。そのスターバックス店では、障がいのある従業員が中心となって、きこえる人と共に働き、注文のやりとりは手話を通じて行われています。

このコーナーでは、スターバックスで使われている手話、オーダーをするときの『指差しメニュー』や筆談の活用など、聴者と聴覚に障がいのある人が、音声と手話でコミュニケーションをとっている取り組み等について展示します。

音の視覚化装置

エキマトペ



音の視覚化装置「エキマトペ」は、駅のアナウンスや電車の音といった環境音を、文字や手話、オノマトペとして視覚的に表現する装置です。電車が駅に近づくとき「ガタンゴトン」、ドアが開くと「ポロンポロン」など、文字がアニメーションとなって、駅に設置された装置に表示されます。

当日は、イメージ映像を上映するとともに、来場者には「こんな物があつたらいいな～」と考えたものを、付箋に記入していただいて、展示します。



今年度は、本校関係者以外の方にもご来場いただけるようになっております。入場制限は行いませんが、来場者の皆様におかれましては、事前の体調確認等をお願いいたします。

紙上報告！夏季研修会②

前号に引き続き、本校主催の研修会について掲載します。今号では、養護教諭の先生方を対象とした研修会「養護教諭セミナー」の様子について、紙上報告します。

第22回養護教諭セミナー（聴覚に関する知識と実践）

令和5年8月3日（木） 参加者 23名

【講座1】養護教諭に知って欲しい手話の知識 －言語学の枠組みから－ 兵庫教育大学 中島 武史 先生

全体講座では、「養護教諭に知って欲しい手話の知識 ー言語学の枠組みからー」というテーマで、兵庫教育大学の中島武史先生からお話していただきました。言語学の枠組みから手話について解説していただき、実習を交えながら楽しく学ぶことができました。



- ・保健室で実際に使えそうな手話を教えていただいて、ありがとうございます。
- ・実践的な手話実習もあり、単語や表現方法を覚えていけば、簡単な意思疎通を生徒とできるようになると、手話に対しての難しいイメージのハードルが下がった気がします。
- ・手話の同時性のお話がとても興味深かったです。手話と表情で情報がコンパクトに伝えられる点など、知らないことも多く学びが深まりました。いただいた動画をもとに手話の練習にも取り組んでいきたいです。

- ・本校でも使えそうな手話を学ぶことができ、とても有意義な時間でした。知的障がいのある児童生徒にも分かりやすく伝えるために「終わり」という手話はよく使うのですが、他にも簡単な手話であれば聴覚障がいの有無に関わらず、保健室でも子どもたちとの意思疎通のために使える気がします。難聴の児童生徒もいるので、コミュニケーションを円滑にするためにも、今回学んだ手話を積極的に使っていきたいと思います。
- ・言語学の話、特に手話言語の同時性の話はとても興味深かったです。養護教諭のために状況にイメージしやすい手話フレーズを教えてください、とても楽しかったし、使えるようになりました。

【講座2】

A 難聴体験

- ・なかなかできない体験をさせてもらったと思います。養護教諭だけでなく、他の先生方にも体験してほしいと思いました。
- ・ヘッドホン装着中は周りの会話内容が切れ切れに聞こえる程度だったので、これが常の状態となると、不安や苛立ちなどのネガティブな気持ちになりそうだと感じました。
- ・久しぶりに『フルーツバスケット』をして楽しかったのですが、ゲームに夢中になり難聴体験の方への配慮を忘れていました。現場が楽しいと、配慮を要する方への意識が薄れていることに気づきました。『楽しい時ほど周りの人にしっかり目を向けなさい』と子どもの頃から教育されてきましたが、年齢重ねてもなかなかできないなあと反省です。



B きこえのシミュレーション



- ・音がはっきり意味をもって聞こえないことが、こんなに心をおちつかなくさせることがわかった。
- ・シミュレーションの音声を聞いて、聞こえづらい子が言葉でコミュニケーションを取ることがいかに大変かを実感しました。口の動きや文字、絵を併用することで、わかりやすさが格段にあがったので、視覚での支援の必要性を、あらためて感じました。
- ・短時間のシミュレーションを体験しても、とても疲れたので、生徒は日々学校にきているだけでクタクタだろうなと実感しました。
- ・難聴の子どもの聞こえ方が体験でき、理解が深まりました。体験しないとわからなかったと思います。

【情報交換会】

- ・聴力検査の実施方法について、他の支援学校の情報を知ることができてよかったです。また、中央聴覚の先生方から、より専門的な情報を教えていただけたので、とても勉強になりました。
- ・ネオメーターについて、触らせていただいて勉強になりました！情報交換の機会はやっぱり楽しいし、新発見、再発見があるので、参加できてよかったです。
- ・高校での養護教諭の先生が、同じような困り感を持っておられるのを共有できてよかったです。
- ・難聴の子へのアプローチの仕方を学ぶことができました。「困ったときは相談してね」と声をかけることや、担任や支援学級の担任だけでなく、養護教諭も見守っていることを、子どもや保護者へ伝えることの大切さが分かりました。

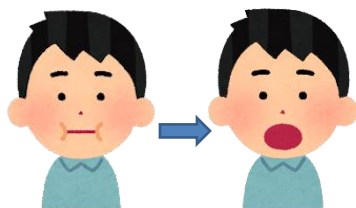
チャレンジ！発音指導 ⑪

バ行音

バ行音は、ハ行やマ行音と同様に、発音が比較的簡単な音だといわれています。[p]とおなじ要領で発声すればよいですが、[p]のときよりも少し弱い両唇破裂音となります。バ行音は、唇を閉じて「うー」と発声したのち、口を開きながら母音をつなげて発声します。[p]に比べると、ややゆっくり口を開くことがポイントです。

バ行音の簡単な指導法としては、遊びの中で「ブー」と言いながら自動車や飛行機の真似をさせて誘導します。また、その際に頬や口唇を触らせて振動を感じさせます。この振動を感じさせる方法としては、紙を口に当てる、スティックシュガーの筒袋などを軽く加えさせても振動に気づくことができます。

小学校高学年以上であれば、「バは、唇を閉じ息をとめて破裂させる」「バは、唇を閉じ声を出しながら破裂させる」「マは、唇を閉じ声を鼻に響かせる」といった説明を使って、パバマ音の異同をはっきりとさせることも有効です。



マ行音

マ行音の子音 [m] は、[p] [b] と同じように、唇を閉じ、「ムー」と鼻に響かせた後に、母音をつなげる音です。



まずは、しっかりと唇を閉じさせます。舌は自然のまま、唇を閉じたまま「ムー」と言って、鼻に呼気を流し響かせます。いわゆる「ハミング」です。この際に、人差し指を鼻翼に当てると、振動を感じることができます。鼻に響かせるハミングができるようになったら、そこに母音をつなげていきます。「ムー」から、そのまま口を開けて母音を出していきます。この際も、掌を口の前にたてたり、下唇を指で触らせたりしながらひびきがあることを感じさせながら発声するようにします。

はじめは、「ムーアー」となりますが、段々とハミングを短くしていき、「ムアー」、「マー」と最終的には、ハミングはせずに口の構えだけで発音ができるようになっていきます。同様に「イ」「ウ」「エ」「オ」を続けて「ミ」「ム」「メ」「モ」を誘導し、マ行音の発音ができるようになっていきます。単音の発音ができるようになったら、他の音と同様に2音節や単語での発音練習を重ねていきましょう。

New!! 手話動画のHP公開



トップ > 地域支援

地域支援

手話動画

地域支援

通級指導教室の概要

みみネット

「手話動画」を Click!

手話動画

動画ご視聴時の留意点

教科名

最初に「留意点」を確認してください

以前より「手話について学びたい」「手話単語の動画がほしい」などの声が、多く寄せられていることを受けて、今年度の養護教諭セミナーでは「手話」をテーマにした講座を開設しました。また、本校支援部では「手話動画」の制作およびホームページへの掲載を開始しました。学校での教育活動で役立つ手話単語を厳選し、順次掲載する予定です。尚、手話には地域によって異なる表現があります。今回ホームページに掲載している手話は、本校で使用している手話となっています。ぜひご覧ください！

(例) 国語



(正面)



(斜め)

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：中咲、金森
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31

TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800